

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		1	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
コミュニケーション活動Ⅰ			講義・ 演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 森川 真琴		
授業の目的・ 目標							
様々な場面で柔軟に対応し、協調性ある行動ができるようになる。自身の学校生活を見直し、身の回りの清掃整理を行い、成長のステップに繋げる。							
授業の概要							
イベント行事やグループ活動を通しコミュニケーションの重要性を理解する。日々の学業の振り返りを行い、生活環境を整える。							
成績評価の方法							
1. 平常点（主体的な授業参加度） 2. 学習意欲（授業に取り組む姿勢）					平常点	80%	
					学習意欲	20%	
使用テキスト・ 教材							
タブレット端末、筆記用具類							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1. オリエンテーション			4				
2. "			4				
3. "			4				
4. "			4				
5. 学校行事			4				
6. 芸術鑑賞			4				
7. "			4				
8. 健康診断			4				
9. レクリエーション			4				
10. "			4				
11. "			4				
12. "			4				
13. 学科活動			4				
14. "			4				
15. "			4			60	
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		3	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ITリテラシー I			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	鈴木 由美 森脇 勘成 吉澤 優人 岡村 迪子 森川 真琴		
授業の目的・目標							
自分のパソコンの使用環境を設定する。 Microsoft365（PowerPoint、Excelなどを使用できるようになる。 スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を吸収する。							
授業の概要							
自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはMicrosoft365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携ができるようになる。Powerpointを利用して、情報発信を行う。							
成績評価の方法							
1．課題（提出させた課題の完成度と提出率） 2．平常点（主体的な授業参加度） 3．学習意欲（授業意欲の有無、授業に取り組む姿勢）					課題	40%	
					平常点	30%	
					学習意欲	30%	
使用テキスト・教材							
個人用PC、筆記用具類							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション、インストール状況確認			2				
2. Windows11について			2				
3. microsoftTeamsについて			2				
4. offece365理解			2				
5. offece365理解			2				
6. 情報リテラシー①			2				
7. AIの活用			2				
8. //			2				
9. //			2				
10. 情報リテラシー②			2				
11. オンデマンド教材の活用			2				
12. //			2				
13. //			2				
14. 情報リテラシー③			2				
15. まとめ			2				30
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	6
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
衛生管理 I			講義・演習		美容・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	鈴木 宏 森川 真琴
授業の目的・目標					
美容師は顧客の「美しく生きる」願いを叶える職業であり、従業員や顧客の健康に配慮し、衛生管理の知識を習得することが重要です。美容国家資格に必要な知識を取得します。					
授業の概要					
美容の仕事を通じて精神健康に貢献するため、人体の構造、感染所予防、公衆環境衛生の知識を身につけます。					
成績評価の方法					
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。					定期試験 80%
					授業態度・出席 20%
使用テキスト・教材					
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 書名：衛生管理及びワークブック					
授業内容・授業計画					
		時間数			
1. 衛生管理はなぜ必要か。		4			
2. 感染症 人と感染症(歴史)		4			
3. 公衆衛生 母子保健・精神保健感染症		4			
4. 公衆衛生 成人・高齢者保健		4			
5. 公衆衛生 グループ・ワーク		4			
6. 環境衛生 環境衛生の概要		4			
7. 環境衛生 空気環境		4			
8. 環境衛生 衣服・住居の衛生感染症		4			
9. 環境衛生 上・下水道と廃棄物・害虫		4			
10. 環境保全・国家試験対策・まとめ		4			
11. 国家試験対策・まとめ		20			
12.					
13.					
14.					
15.					
その他			関連科目		
※単元ごと模擬問題を実施する。			美容保健		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		8	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
美容保健 I			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	馬淵 佳奈子 森川 真琴		
授業の目的・目標							
皮膚・毛髪・人体の構造、機能に関する科学的また知識を美容技術と関連させながら学ぶ。 なぜ美容で人体の構造及び機能を関連させながら学ぶ必要があるのか考察する。							
授業の概要							
安全で効果的な美容技術を提供するための基礎となるものを築く。 特に皮膚や毛髪などに関する保健衛生においては、衛生管理と関連させながら体系的に知識の習得を行う。							
成績評価の方法							
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。					定期試験	80%	
					授業態度・出席	20%	
使用テキスト・教材							
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 書名：保健及びワークブック							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1. 第1章 人体各部の名称・解剖学			4				
2. 第2章 骨の種類と構造			4				
3. 第2章 骨格器系とその働き			4				
4. 第3章 筋の種類とその特徴骨格筋の働き			4				
5. 第3章 表情筋と表情運動・美容の作業と筋疲労			4				
6. 第4章 神経系の成り立ち			4				
7. 第4章 末梢神経系とその成り立ち			4				
8. 第5章 視覚・聴覚			4				
9. 第5章 平衡感覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚			4				
10. 第6章 血液のあらまし・血液循環			4				
11. 第6章 血液循環経路			4				
12. 第6章 心臓と血管の働き・リンパ管の働き			4				
13. 第7章 呼吸器系のあらまし・気道 肺の仕組みとガス交換・呼吸運動			4				
14. 第8章 消化器系のあらまし・消化官のしくみ			4			56	
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。			衛生管理				
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		10	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
化粧品化学			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	岸田 真里 岩本 ひとみ		
授業の目的・目標							
化粧品原料を主軸に美容師として必要な化粧品の「成分」「用途機能」「製品特性」等に関する知識を身に付ける。美容師の業務の中で常に扱う化粧品・医学部外品類を正しい使用目的で扱うことの重要性を学ぶ。							
授業の概要							
ビューティークリエイターとして仕事をする上で必要な化粧品化学の基礎知識を学ぶ。化粧品の性状や分類、安全性等を学び美容師として知識を学ぶ。							
成績評価の方法							
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。					定期試験	80%	
					授業態度・出席	20%	
使用テキスト・教材							
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 書名：化粧品化学及びワークブック							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1. 化粧品化学のための基礎化学(物質の構成・構造)			3				
2. 化粧品化学のための基礎化学(溶解とコロイドイオンとPH) 物質の構成・構造)			3				
3. 化粧品化学のための基礎化学(酸と塩基・有機化合物)			3				
4. 化粧品概論			3				
5. 化粧品原料Ⅰ（化粧品の対象となる人体各部の部位）			3				
6. 化粧品原料Ⅱ（水性原料・油性原料）			3				
7. 化粧品原料Ⅲ（界面活性剤・高分子化合物）			3				
8. 化粧品原料Ⅳ（色材・香料水性原料）			3				
9. 化粧品原料Ⅴ（その他配分・ネイルまつ毛）			3				
10. まとめ			3				
11.							
12.							
13.							
14.							
15.						30	
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	11
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
美容文化論 I			講義・演習		美容・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	橋本 明奈 安富 万里子
授業の目的・目標					
美容文化やファッションに関する知識や歴史を身に付け、幅広いデザイン提案ができる美容師になることを目指す。現在は過去の上に成り立っていることを理解し、またファッションや時事の出来事との繋がりを意識することがこれからの歴史を創っていく原動力となる。					
授業の概要					
日本の理容・美容の歴史及びファッション文化史を單元ごとに進めていく。各単元の最後に小テストを実施することで確実に知識を得る。					
成績評価の方法					
1. 授業への参加；遅刻・欠席の回数 2. 取り組み姿勢 3. 單元ごとの小テスト 4. 定期試験（前期・後期）				定期試験	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
参考資料の配布 文化論及びワークブック（公益社団法人日本理容美容教育センター発行）					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション	時間数				時間数
2. 第1章 第1節 総論	1				
3. 第2章 日本の理容師・美容師の歴史					
4. 第1節 理容業・美容業の登場	1				
5. 第2節 江戸時代の理容業・美容業	1				
6. 第3節 近代の美容業・美容業	2				
7. 第4節 現代の理容業・美容業	2				
8. 第3章 ファッション文化史					
9. 第1節 縄文・弥生・古墳時代	1				
10. 第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	1				
11. 第3節 中世（平安時代末期・鎌倉・室町・戦国）	1				
12. 第4節 近世（戦国時代末期・安土桃山時代）	1				
13. 第5節 近世（江戸時代）	3				
14. 第6節 近世（明治時代）	2				
15. 第7節 近世（大正時代）	2				
その他			関連科目		
※單元ごと模擬問題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2024年度	
				科目コード		14	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
美容技術理論Ⅰ			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	90	3	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴		
授業の目的・目標							
美容の業務を安全かつ効果的に行うため、道具・器具・機械等の正しい取り扱いや、理論に基づいた施術法を学ぶ。美容師の仕事に準ずる基礎知識の習得と国家試験の合格基準を満たす土台を築く。							
授業の概要							
必要に応じて、実際の道具や、画像・動画教材を使用し、理論と実際が結びつく授業を展開する。							
成績評価の方法							
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。					定期試験	80%	
					授業態度・出席	20%	
使用テキスト・教材							
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 書名：美容技術理論Ⅰ及びワークブック							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 序章 美容技術理論を学ぶにあたって			6				
2. 第1章 美容道具			8				
3. 第2章 シャンプーイング			12				
4. 第3章 ヘアデザイン			10				
5. 第4章 ヘアカットイング			12				
6. 第5章 パーマネントウェーブ			14				
7. 第6章 ヘアセッティング			14				
8. 第7章 ヘアカラーリング			14				
							90
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。			美容実習Ⅰ、美容文化論				
※実務経験資格保持教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	16
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
美容実習 I （国試オールウェーブ）			講義・演習		美容科・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	150	5	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴
授業の目的・目標					
国家試験課題である構成の理解と基礎的手技の習得 1年次に国家試験合格レベル50点をを目指す					
授業の概要					
美容技術の手技・正対・体重移動を学び反復練習を身につけさせ、基礎力（理論的知識）の向上を図る					
成績評価の方法					
出席率と授業に望む姿勢 チェックテストの可否 課題への取り組み 理論的理解				平常点	70%
				課題点	30%
オールウェーブ用具類 美容技術理論教科書 1					
授業内容・授業計画					
1 課題導入・用具類に説明・実習にあたり決まり事伝達 2 ローション塗布・コームの扱いと手技・理論的知識伝達 3 フィンガーウェーブ作成 4 フィンガーウェーブ・リッジ作成 5 両サイドウェーブ幅の完成 6 馬蹄形の理解・上部からのウェーブ作成 7 3段目（スカルプチュアカール）・3等分バランス理解 8 4段目（リフトカール）特徴理解と中央バランス 9 耳引き・4段目までの作成手順の理解 10 5段目（逆リフトカール）までの完成・接続部 11 馬蹄形1段目の構成とスカルプチュアカール位置 12 5段目完成 25分間 13 6段目（メイボールカール）・両サイドウェーブ 14 7段目（クロッキノールカール） 15 全頭40分間 バランス重視			時間数		時間数
その他			関連科目		
担当は国試実習資格保持者であること					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		16	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
美容実習Ⅰ（国試カット）			講義・演習		美容科・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	120	4	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴		
授業の目的・目標							
国家試験 実技・衛生減点なし							
授業の概要							
国家試験課題合格レベルに値する完成度と減点項目・減点数の把握							
成績評価の方法							
授業態度・授業参加率・試験結果					平常点	70%	
					課題点	30%	
使用テキスト・教材							
カット用具類 国試課題参考資料							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1 国試課題(第一課題レイヤースタイル)導入			16				
2 ブロッキング・重要ポイントと規定							
2 コームの持ち方・シェーブ・パネルの持ち方							
3 ベーススライシングの位置、体の向き、ブラント							
3 カット							
4 アウトライン・第3ブロック(行程とベースとステム)							
4 0度と90度のシェーブ							
5 第2ブロック・第1ブロック 体の向きと距離感重視							
6 サイドアウトライン・両サイドの作業行程0度とオンベースでつなぐ(ガイド意識)							
7 サイドアウトライン・両サイドの作業行程のみエアーカット(15分)							
8 全行程チェック 計測40分(エアーカット)							
9 全行程確認 計測35分(エアーカット)							
1 0 全行程チェック 計測30分(エアーカット)							
1 1 実践全行程チェック 計測40分							
1 2 実践全行程チェック 計測33分							
1 3 実践全行程チェック 計測28分							
1 4 実践全行程チェック 計測27分							
1 5 準備時間7分間実践全行程チェック 計測27分							
その他			関連科目				
担当は国試実習資格保持者であること							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		16	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
美容実習Ⅰ（国試ワインディング）			講義・演習		美容科・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	150	5	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴		
授業の目的・目標							
国家試験課題であるデザイン巻きの基礎の習得 1年次に国家試験合格レベル60点をを目指す							
授業の概要							
美容技術の手技・正対を学び反復練習を身につけさせ、基礎力（理論的知識）の向上を図る							
成績評価の方法							
出席率と授業に望む姿勢 チェックテストの可否 課題への取り組み 理論的理解					平常点	70%	
					課題点	30%	
ワインディング用具類 美容技術理論教科書 1							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1 国試ワインディングへの導入、コーム手技、ブロックング、二重ゴム手技の習得							
2 ワインディングウィッグ作成準備							
3 ブロックング構成(12ブロック)・シェープ・ゴムかけ							
4 上巻きの習得							
5 下巻きの習得							
6 ロッドの理解、ロッド幅・センター完成（ステム理解）							
7 フロントブロックの理解・フロントブロック構成							
8 サイドブロック構成・左右対称理解・ステム確認							
9 上巻きブロック構成・配置							
10 バックサイドの構成・左右対称スライス							
11 全頭45分間（スライス重視）							
12 全頭35分（スライス・ステム・P点）							
13 全頭25分（センター基準・左右対称）							
14 全頭22分（国試減点項目重視）							
15 全頭20分タイム重視（早巻き17分）							
その他			関連科目				
担当は国試実習資格保持者であること							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		16	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
美容実習Ⅰ（メイク＆ヘアアレンジ）			講義・演習		ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴		
授業の目的・目標							
・ヘアセット・メイクを通して、技術面のスキルアップ ・美を探究し自己成長を目指す							
授業の概要							
ヘアメイクを楽しみ、自己実現の為の武器にする							
成績評価の方法							
・技術力 ・取り組み姿勢 ・理解度					平常点		100%
使用テキスト・教材							
・セットウィッグ・ピン類・ダックカール・ヘアアイロン類・クランプ・ゴム・ヘアスプレー・ワックス・メイク道具一式・タオル1枚							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 編み込み			2				
2. 編み込みを使ったアップスタイル			2				
3. 編みおろし			2				
4. ハーフアップ			2				
5. ツインアレンジ			2				
6. ルーズシニオン			2				
7. 前期テスト(ルーズシニオン)			2				
8. ヘアアイロンを使ったセット・メンズメイク			2				
9. キュートメイク			2				
10. クールメイク			2				
11. エレガントメイク			2				
12. モードメイク			2				
13. 流行メイク			2				
14. 振袖メイク			2				
15. 後期テスト(振袖メイク)			2				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		16	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
美容実習I（着付け）			講義・演習		ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	鈴木 由美 岩本 ひとみ 森川 真琴		
授業の目的・ 目標							
日本の民族衣装の着物の伝承を目的とする。 基礎的知識と技術を習得し、和服小物の使用目的・ 名称を学ぶ。							
授業の概要							
浴衣着付け・ 留袖着付けから和服の概念を知り、知識を得る。							
成績評価の方法							
授業の態度。着付け行程と習得度。小物の名称と使用目的への理解度。					平常点	100%	
使用テキスト・ 教材							
教科書、美容技術理論② 補正、着付道具一式							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1.	和服着付けの導入・着付け授業オリエンテーション教科書内容、小物の名称説明、浴衣着付け導入		2				
2.	浴衣着付け展示・たたみ方展示、補正の方法説明、浴衣着付け実践(30分)		2				
3.	着物の畳み方。補正のやり方。浴衣の着付。反復練習		2				
4.	浴衣(補正)の着付(自力で時間計測40分)		2				
5.	浴衣の着付の完成度評価(自力で時間計測25分)		2				
6.	礼装(留袖)の着付、長襦袢終了まで展示・反復練習・実践		2				
7.	留袖の着付(着物終了まで25分) モデル替		2				
8.	留袖の着付(着物終了まで25分以内) モデル替		2				
9.	留袖の帯結び展示、反復実践練習(3回通り)		2				
10.	留袖の帯結び展示、反復実践練習(3回通り)、帯揚げ、帯締め処理展示		2				
11.	着物着付け→仕上がりチェック、帯・小物仕上げ		2				
12.	補正、着付、帯結び、総体チェック		2				
13.	補正、着付、帯結び総体チェック		2				
14.	補正、着付、帯結び総体チェック		2				
15.	実技(計測40分)・筆記試験25問		2				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する→最低3回			美容文化論				
※メイン施術者とヘルプ者のどちらも実践力を付ける。							

シラバス(授業概要)			年 度		2025年度
			科目コード		18
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
美容総合実習 I (JMA3, 2級)			講義・演習		ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	徳差 あつこ
授業の目的・目標					
JMA3, 2級を目指す メイクアップの基本で学び知識と安定した技術力の土台を身につけて正確で丁寧なメイクアップができるようになる。					
授業の概要					
メイクアップの基礎基本の技術、知識はもちろん、他社への気配り、美容従事者としての誇りを持ち、職業としてのメイクアップのかかわる基礎を身につける					
成績評価の方法					
1, 平常点 (主体的な授業参加度)				1	30%
2, 学習意欲 (取り組み姿勢、マナー、社会人としての礼儀)				2	30%
3, 試験結果 (点数)				3	40%
使用テキスト・教材					
日本メイクアップ技術検定試験公式テキストGRADE3, 2、筆記用具、鏡、UTOWAメイクアップ道具一式、消耗品など美容技術に必要な品物、ドール、クランプ					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1 メイクアップの前に、試験要項	2	2級課題の順序、顔のバランス分析	2		
2 顔の成り立ち、筋肉、皮膚について	2	ベースメイクⅡ、ブラシテクニック	2		
3 道具、モデルのセッティング、技術中のスタンス	2	ポイントメイクアップベーシックテクニック①	2		
4 スキンケアについて、クレンジング(ポイント全体)	2	ポイントメイクアップベーシックテクニック②	2		
5 クレンジング～スキンケアテクニック	2	ベースメイクⅡ修正テクニック	2		
6 ベースメイクテクニック	2	ポイントメイクアップベーシックテクニック③	2		
7 ベースメイクテクニック	2	ポイントメイクアップベーシックテクニック④	2		
8 顔の立体、ハイライト、ローライト	2	色と形のバリエーションテクニック①	2		
9 ベースメイクテクニック、チーク	2	色と形のバリエーションテクニック②	2		
10 スキンケア～ベースメイク	2	課題フルメイクアップ①	2		
11 ポイントメイク (ベーシック)	2	課題フルメイクアップ②	2		
12 ポイントメイク (ベーシック)	2	課題フルメイクアップ③	2		
13 ポイントクレンジング～ベースメイク	2	スキンケアテクニック、ベースブラシテクニック	2		
14 模擬試験レッスン①	2	模擬試験レッスン	2		
15 模擬試験レッスン②	2	模擬試験レッスン	2		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		18	
時間数は50分換算							
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス		
美容総合実習Ⅰ（アイラッシュ）			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	1	田中 成佳		
授業の目的・目標							
・まつ毛エクステ装着の基礎知識、基礎技術を身につける。 ・ラッシュリフト施術の基礎技術を身につける。							
授業の概要							
・シングルエクステ、フラットラッシュの装着の基礎技術の習得を目指します。 ・施術に関連するエクステンションのオフ技術の習得を目指します。 ・ラッシュリフト実践技術の習得を目指します。							
成績評価の方法							
1. 平常点（授業に取り組む姿勢） 2. 課題・演習（技術の完成制度） 3. 筆記試験結果					平常点	60%	
					課題・演習	30%	
					筆記試験結果	10%	
使用テキスト・教材							
テキスト：まつ毛エクステンション基礎 教材：ツイーザ、エクステンション、グルー、リムーバー、ラッシュリフトロッド リフト薬剤							
0.3							
			時間数				時間数
1. まつ毛エクステンション基礎座学			1				
2. 目元保護テープの貼り付け、装着実習			1				
3. フラットラッシュ装着実習、ポイントオフ			1				
4. フラットラッシュ装着実習、仕上がりチェック			1				
5. 全体オフ、学科試験①			1				
6. デザイン装着実習、ナチュラルデザイン			1				
7. デザイン装着実習、キュートデザイン			1				
8. カラーエクステ装着実習			1				
9. シングルエクステ装着実習			1				
10. ポイントオフ、フラットラッシュ装着実習			1				
11. フラットラッシュ装着実習、試験項目説明			1				
12. フラットラッシュ装着試験（40本）、学科②			1				
13. 全体オフ、ラッシュリフト基礎座学			1				
14. ラッシュリフト技術実習①			1				
15. ラッシュリフト技術実習②			1				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		22	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
キャリア I			講義・演習		美容科・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	1	吉竹 てるみ		
授業の目的・目標							
・ 社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。 ・ サービス業に求められる基本的な接客スキルを身につけ実践できるようになる。 ・ 就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。							
授業の概要							
・ 社会人として必要となるビジネスマナーの習得を目指します。 ・ サービス業で必要となるおもてなしの心とは何か、またその表現方法の習得を目指します。 ・ 就職活動に対する意識を高め、企業が求める人材育成を目指します。							
成績評価の方法							
1. 筆記試験（小テスト、学期末試験等の実施）					筆記試験	50%	
					課題・演習	30%	
					平常点	20%	
使用テキスト・教材							
・ A4クリアファイル（ポケットファイル30枚～40枚程度） ・ ノート（ルーズリーフ） ・ 筆記用具 ・ タブレット							
授業内容・授業計画							
1. オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 他已紹介 2. 社会人への意識改革、企業が求める人物像、マナーの重要性、CSについて 3. ビジネスマナー①(第一印象、挨拶、姿勢、身だしなみ)＜演習＞ 4. ビジネスマナー②(言葉遣い、印象度アップの話し方) 5. 敬語、言葉遣いに関する小テストの実施、答え合わせを行いながら解説＜小テスト＞ 6. ビジネスマナー③（電話応対） 7. 接客サービス①（お客様に喜ばれる接客について考える） 8. 接客サービス②（待機姿勢、表情コントロール、お出迎えとお見送りの挨拶） ＜演習＞ 9. テスト前の復習と学期末試験の実施 ＜学期末試験＞ 10. 学期末試験の解答と解説、授業総まとめ 11. 自己分析 12. 自己紹介書の書き方 13. 履歴書書き方 14. 添削 15. まとめ					時間数		
					2		
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード		23	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
修了制作			講義・演習		美容・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	30	1	鈴木 由美 吉澤 優人	森脇 勘成 岡村 迪子	
授業の目的・目標							
1年間の学びを活かし、それぞれの個性を表現する。							
授業の概要							
モデルを使用し、ヘア・メイクはもちろん、トータルの施術で自分を表現する作品に仕上げる。モデルをフォトに収める。							
成績評価の方法							
作品、授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。						作品	80%
						授業態度・出席	20%
使用テキスト・教材							
各自必要な道具を準備							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. アイデア出し			2				
2. ムードボード作成			4				
3. プレゼンテーション			4				
4. 作品作り			10				
5. フォトシューティング			8				
6. 品評会			2				
							30
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							